



地域と結ぶ

順天堂大学練馬病院ニュース

開院7周年を迎えて

お陰さまで平成24年7月1日をもちまして、開院7周年を迎えることができました。これもひとえに志村豊志郎区長をはじめとして、練馬区行政、練馬区医師会、練馬区民の皆さま方のご協力とご理解の賜物と、心から厚く感謝申し上げます。

皆さまには当初より、小児・周産期・救急・がん医療など高度専門医療を提供できる病院として大きな期待をいただいております。この間、医師・看護師等の専門スタッフも充実し、平成22年には東京都認定がん診療病院、平成23年には東京都地域医療支援病院の承認を受け、安全で質の高い専門医療を提供できるよう職員一同、日々努力してまいりました。平成24年度は、区内の医療提供体制も大きく変わり、私どもも地域の基幹病院として、また大学附属病院として、今までにも増して医療を通じて社会貢献を果たしてまいる所存でございます。

現在、当院は1日平均外来患者数が1,300名を超え、入院病床400床は常に満床状態でございます。皆さまには、外来待合室のスペース不足、待ち時間の問題など、大変ご迷惑をおかけしております。目下の病院としての課題は、入院治療や緊急治療の必要な患者さんの病床確保の点にございます。一日も早く病院増床を実現し、入院を必要とされる患者さんを一人でも多く治療できるよう、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

今後も当院は、練馬区71万区民の方々はじめ、周辺地域の皆さまに「安心」、「安全」の医療をお届けできるよう、順天堂の学は「仁」のスピリットで誠心誠意、努めてまいります。皆さまのご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。



院長 児島邦明



地域の皆さまの
心と身体のオアシスで
ありたいと願っています。
何なりと
ご相談ください。

名誉院長 宮野 武

志村豊志郎区長をはじめ、練馬区行政の方々、秋田会長以下練馬区医師会の先生方、及び練馬区民の皆さまの全面のご理解とご協力、そして小川理事長以下順天堂大学の絶大なるバックアップとご支援により、順天堂大学練馬病院は今日まで7年間、極めて順調に発展してまいりました。

今後は、開院当初より悲願に近い100床以上の増床に向けて、職員一同が「和(仲良く楽しく)」、「仁(順天堂の学是でもある、患者さんへの優しい思いやりの心)」、そして「守(医療安全により患者さんの信頼を得る)」のスピリットをもって、地域医療の更なる充実に全力を尽すことが何より大切であると確信しております。



名誉院長
宮野 武

副院長 平野 隆雄

平成17年7月に開院された順天堂大学練馬病院が、お陰さまで7周年を迎えることができました。これは、当院が練馬区民、地域の皆さんに愛される病院として認めていただいたと信じております。

今後は、さらに職員一同努力をいたし、大学病院の役割である先進医療の充実と同時に地域に密着した心の通った医療を目標として努めてまいります。今後とも何卒、宜しくお願ひいたします。



副院長
血液内科 教授
平野 隆雄

副院長 野沢 雅彦

順天堂大学練馬病院は、開院して約7年が経過いたしました。私は、本年4月より医療連携室長を仰せつかりましたが、受診される皆さまの心が、より一層癒され、安心して治療をさせていただける病院であり続けられるように努力していきたいと思います。

昨年より、当院は地域医療支援病院に承認されましたことから、近隣の開業医の先生や病院様と一層の連携をさらに深めていきたいと考えております。職員は“仁”的心を持ちながら仕事をしております。お気づきのことございましたら、何なりとお知らせくださいますようお願い申し上げます。

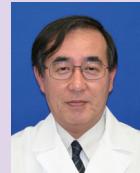


副院長
整形外科・スポーツ診療科 教授
野沢 雅彦

院長補佐 宮崎 招久

当院は、日本で最も優れた免震構造を誇り、感染予防対策も整った、地域医療の拠点としての救急・周産期・小児医療を重点とした総合病院として7周年を迎えました。

平成22年4月には東京都認定がん診療病院に承認され、がん治療にも重点をおいています。最新の医療器械も整備されており、全人的・総合的医療に努めています。児島院長のもと、地域の皆さまにより一層信頼される病院を目指して頑張ってまいりますので、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



院長補佐
消化器内科 教授
宮崎 招久

院長補佐 浦尾 正彦

昨年は、日本全体が危機意識を高めた一年でした。順天堂大学練馬病院も災害拠点病院としての責務を果たすべく、さらに医療サービスの充実を図ってまいります。

また、今まで同様、皆さまのご意見を参考にさせていただきながら、職員教育、研修を通して、高度、安全、そして患者さんに満足いただける医療を提供できるよう努力してまいります。

今後ともご支援いただけますよう、お願ひいたします。

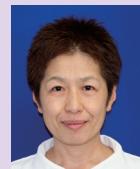


院長補佐
小児外科 教授
浦尾 正彦

看護部長 岡田 綾

地域の皆さんに支えられながら、無事7周年を迎えることができましたことを心より感謝申し上げます。

当院では、現在400名を超える看護師が外来、病棟、手術室で連携しながら継続的な看護を行っています。がんや救急、褥瘡ケア、糖尿病等の領域では、認定資格を持った看護師の活動も活発化してまいりました。大学病院として、次世代を担う学生教育にも力を入れて取り組んでいます。今後とも「患者さん第一、いつも笑顔」を信条に、皆さんに信頼される病院を目指し、努力を続けてまいります。



看護部長
岡田 綾

事務部長 黒田 稔

順天堂大学練馬病院では、本年開院して7周年を迎えることになりました。地域医療の拠点として、救急・周産期・小児・がん・災害医療に重点をおき、患者さんの立場に立って実践することが使命と考えています。患者さん中心のチーム医療を心掛け、職員一丸となって喜びを共に感じながら、「心のこもった医療に取り組める環境」を築いていきたいと思います。

次の10年、15年、20年に向かって、患者さんからより信頼される病院であるよう、全ての職員が弛まぬ努力をしてまいります。

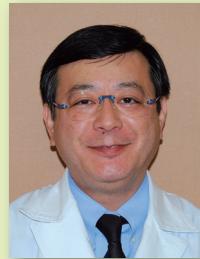


事務部長
黒田 稔

東京都地域がん登録がはじまります

がん治療センター センター長 花澤喜三郎

「地域がん登録」とは、どのくらいの人がどんながんにかかっているかなどを各都道府県で調べるもので。集めたデータは、がんを治療するための対策に使われます。



センター長 花澤 喜三郎

「地域がん登録」が行われていないのは、東京都と宮崎県の2都道府県のみです（平成23年未現在）。東京都は、がん対策を推進するため、東京都地域がん登録を平成24年7月から実施します。登録される患者さんは、平成24年1月1日以降にがんの診断を受けた方です。当院も地域がん登録に参加します。

集めた情報の取扱いは細心の注意を払い、個人の不利益にならないよう厳密に管理します。

「地域がん登録」の届出について、ご本人に説明したり了承を得ることはいたしません。「地域がん登録」への届出については、厚生労働省通知でご本人の同意が必要ないとされています。

当院がん患者さんの診療情報は、都立駒込病院内の地域がん登録室に送られます。



病理診断をご存知ですか？

病理診断科 準教授 小倉加奈子

内視鏡で「生検」された組織の一部や手術で摘出された臓器の一部など、全身、様々な部位の組織を顕微鏡で観察して診断をすることを「病理診断」といいます。特に“がん”を含めた悪性腫瘍の「最終診断」は、まさにこの病理診断によって下されます。また、この病理診断を専門とする医師を「病理医」といいます。

このように病気の診断に必要不可欠な病理診断ですが、病理医が患者さんに直接お会いすることが少ないということからも意外に一般の方々には知られていません。

当院では、3名の病理医が常駐し、2名は病理専門医ですが、得意とする専門分野が広いこと、また、どのような分野の病理診断も的確に診断、対応し、難しい症例に関しては、さらに専門の病理医にコンサルテーションをするなど、バランスの取れたオールラウンド病理医であると自負しております。患者さんお一人おひとりに対して、病理診断を通じ、どのような治療が適切であるか、臨床の先生方と熱い議論を交わすこともしばしば・・・。

病理診断に対しての疑問がありましたら、担当医にお気軽にご相談ください。これからも病理診断科スタッフ一丸となって、診療に貢献していきます。どうぞお見知りおきください。

2名の病理専門医の専門分野紹介

教授 松本 俊治 専門；外科病理全般、肝臓、産科・婦人科、血管炎

准教授 小倉 加奈子 専門；外科病理全般、乳腺、産科・婦人科、血液・骨髄



准教授 小倉 加奈子



第5回 臨床研修医・指導医軽井沢セミナー開催 臨床研修センター

期日：2012年6月8日（金）～9日（土）

場所：練馬区立軽井沢少年自然の家
ベルデ軽井沢

軽井沢セミナーでは、短い時間ではありましたが、集中して貴重な時間を過ごすことができました。縫合・針生検・気管内挿管、急変時の対応、不整脈の診断・治療、四肢のギプス固定法、身体所見の取り方、腹部エコーなど、基本手技や初期治療を学び、今後の診療に役立てていきたいと思います。



ベルデ軽井沢



縫合・針生検・挿管



四肢のギプス固定法



急変時の対応



不整脈の診断と治療



腹部エコー



身体所見の取り方



仁邦法律事務所
桑原博道弁護士



練馬区健康福祉事業本部
担当者



新研修医 27名と一緒に

われわれ順天堂大学練馬病院の医療スタッフは、順天堂の学是「仁」の精神のもと、臨床研修医を一日も早く良医に育成し、医療を通じて皆さまの健康維持に貢献していきたいと願っています。

*初期臨床研修医教育のため
のご寄付を募っております。
詳しくは、総合案内まで。

第2回 看護師 軽井沢セミナー 看護部

この6月、新人看護師を対象にした研修を行いました。練馬区立少年自然の家“ベルデ軽井沢”を利用させていただいたセミナーでは、チームの結束を強め、心身ともにリフレッシュすることを目指し、いろいろな活動をしました。

自己啓発ゲームやレクリエーションで親睦が深まり、「私が組織に貢献できること」をテーマにグループワークも行いました。短い期間でしたが、有意義な時間を過ごすことができました。



ベルテ軽井沢



自己啓発ゲームをしました。



サッカーやテニスで汗も流しました。



懇親会では、合唱も行いました。



グループワークをしているところです。



グループ発表しているところです。



表彰されました!



天候にも恵まれ、無事に研修を終えました。



臨床研修医について

順天堂大学練馬病院は、「教育」「臨床」「研究」の機能を担う大学病院として、また、厚生労働省の審査を受けた「臨床研修指定病院」として、医学部を卒業し医師免許を取得した研修医を2年間、医師としての経験を積む場としての役割があります。

当院では、診療の一部を臨床研修医が担当する場合があります。医師にとって患者さんが先生です。地域で、病院で、患者さんとともに良医を育てていきます。皆さまには、厳しくもあたたかい目で育てていただけますようお願い申し上げます。



*臨床研修医の外来診療は、指導医の指導のもとに行います。

*臨床研修医の診察を希望されない方は、遠慮なくお申し出ください。

節電対策にご協力をお願いします!

当院では、節電対策に取り組んでいます。一部の照明やエアコンなどの使用を節電モードにさせていただいています。

また、職員のユニフォームにつきましても、省エネルギー活動の一環として、ノーネクタイでの勤務を許可しています。

皆さまには、ご不便をおかけしますが、何卒、ご理解ご協力のほど、お願い申し上げます。

